

「さあ にをいがけ」

プログラムのねらい

- 自分の信仰的な“におい”を感じ取る
- 教えに基づく生き方を心がけ、常に“よいにおい”を発散することの大切さを理解する
- 日常の生活態度からでもにをいがけができることを理解し、自信をもってできることからにをいがけに取り組むよう呼びかける

プログラムの構成

			時間配分
《導入（起）》	《演習》	自己紹介・におい自己チェック	10分
	《演習》	あなたの発散するにおいは？	5分
《気づき（承）》	《本読み》	テキスト「さあ にをいがけ」	5分
	《おはなし》	においの習性、においの大切さ	10分
《学習（転）》	《演習・おしゃべりタイム》	あなたの好きなにおいは？	20分
	《おしゃべりタイム》	よいにおいを発散するには？	10分
	《おしゃべりタイム》	全体発表	10分
《結び（結）》	《本読み》	テキスト「さあ にをいがけ」	5分
	《おはなし》	教えにもとづく生き方とにをいがけ	20分
	《おしゃべりタイム》	講座のふりかえり	20分
			(1時間55分)

※開会、閉会、つなぎの司会時間を含まないプログラム正味の時間

各項目の時間は目安です。当日の流れ、実情に応じて調整してください

準備物品

- テキスト「さあ にをいがけ」（布教二課にて受渡し）
- テーマシート「あなたの好きなにおいは？」（受講者資料 コピーして使用）
- ふりかえりシート（ ）
- 班別司会者資料（コピーして使用）

プログラム進行表



総合司会コメント



講師のお話




本読み








おしゃべりタイム











演習






時間	項目	プログラム	進め方とポイント	方向性・ねらい
		開会 親神様、教祖、祖霊様遥拝 オリエンテーション 講師・スタッフ紹介 テキスト紹介 講座のねらい 等	○テキストは指示があるま で開かないことを促す。 ○受講者とスタッフで作 り上げる講座であるので協 力を呼びかける。 ○オリエンテーションとし て、講座内容、進め方、終 了時間、トイレ休憩なども 説明する。	
		<p>「にをいがけ」と聞いてドキッとする人、にをいがけは苦手だ、私にはできない、やりたくない、という人もおられるのではないかと思います。そう思っている人、どうぞ遠慮せずに手を挙げてみてください(笑)</p> <p>ありがとうございます。今手を挙げてくださった人は大変正直な方ですね。みなさん、その気持ちよくわかります。いいじゃないですか。そこから始めましよう。</p> <p>今日の講座では、今一度、にをいがけについて学んで、自分なりにできることを探してみたいと思います。どうぞ気軽にお付き合いください。</p> <p>さて、「にをいがけ」を学ぶということで、今日の講座では「におい」が主役ですが、みなさんは自分の「におい」に気づいていますか？まさか、昨日お風呂に入ったかなと心配する人はないと思いますが…。まず始めに、自己紹介をしながら、みなさんの「におい」を探ってみましょう。</p>		
		テキストの 4 ページを開いてください。ここから 5 ページまでチェックシートがあります。班の中で、順番に設問を読みながら、チェックしていきましょう。せつかくですから、自己紹介を兼ねて進めましょう。設問を読むときに、お住まいの地区とお名前をみなさんにお伝えして進めてください。		


10分		<p>〈演習〉 自己紹介（簡単に） ・におい自己チェック</p>	<p>① 「さあ にをいがけ」 P4～5 を使います。</p> <p>② 班の中で、1 人ずつ順番 交代に設問を読み上げ ながらチェックしてい きます。</p> <p>③ 設問を読み上げる人は、 簡単な自己紹介をし ます。 ※〇〇から来た〇〇で す。 今日はよろしくお願 いします。 それでは設問 1… という形で進めます</p>	<p>○自己チェック を通して、信 仰的な「にお い」について 関心を向ける ようにする。</p> <p>○「においチェ ック」という 意外な切り口 から、「にをい がけ」をテー マとする講座 のイメージと 硬くなる心を ほぐし、講座 へのスムーズ な導入を行 う。</p>
		<p>ありがとうございました。みなさんはどんなにおいを持っていましたか。 続いてもう少し自分のにおいを探ってみたいと思います。</p> <p>次は班の中で 2 人組になってください。 今度は 2 人で自己紹介しながら進めます。</p>		
5分		<p>〈演習〉 ・あなたの発散するにおいは？</p>	<p>① 記入用紙を配ります。</p> <p>② 2 人 1 組になります。</p> <p>③ どちらからでもよいの で、簡単に自己紹介をし ます。自己紹介を終えて から、「最近、気になっ ていること」をテーマに 2 人で気軽に話します。</p> <p>【3 分間】 ※テーマは話しやすい ものを提示します。 ※自己紹介の例 □□が自慢の〇〇です □□が得意な〇〇です など</p>	<p>○自分では気づ いていない 「におい」に 関心を向ける ようにする。</p> <p>○特に、他人が 自分に対して 感じたよい 「におい」を 知ることによ って、信仰的 な「におい」 を持つ自分に 自信を持って もらう。</p>

			<p>④ 1人が一方的に話したり、聞くばかりにならないよう注意しながら会話を楽しみます。</p> <p>⑤ お互いに相手の様子を見てじっくりと話を聞き、相手のよいと感じるところを心に留めながら進めます。</p> <p>⑥ 話が終わったら、お互いに全体の印象、話し方、表情などから受けた相手のよい部分を用紙に記入します。 ※例えば、「笑顔が素敵」「声がやさしい」「目が澄んでいる」など。</p> <p>⑦ お互いに見せ合い、なぜそう思ったかを伝え合います。</p> <p>⑧ 用紙をお互いにプレゼントします。</p>	
		<p>いかがでしたか。自分のにおいを発見できましたか？自分では気づかなかったよいにおいを発見してもらった人もいるかもしれませんね。</p> <p>この「におい」というもの。実は私たちようぼくにとって、けっこう大切なものなのです。このことについて、テキストを読んで、講師のおはなしを聞いてみましょう。</p> <p>まずテキストを読んでみましょう。 テキストの3ページをお開きください。</p>		
<p>5分</p>		<p>〈本読み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さあ にをいがけ」 <p>P3（上段）</p> <p>“にをいがけ”なんて無理と思っているあなた。その気持ちわかります。</p>	<p>○ゆっくり読むように指導する。</p>	

		続いて講師のおはなしを聞きましょう。		
10分		〈おはなし〉 ・ においの習性、においの大切さ	○ においは気づかないうちに伝わっていく。 ○ 人が好み、引き寄せられるようにおいを持つことが大切。	
		ありがとうございました。 においはよいにおいも、悪いにおいも気づかないうちに人に伝わる。教祖の教えを知る私たちは、できることならよい方のおいを持ちたいものです。 では、よいにおいとはどんなものなのでしょう。 そのあたりを考えていきたいと思います。 今から班でみなさんの好きな、よいにおいを出し合ってもらいます。みなさんで協力して、できるだけたくさん出してみましょ。そして、そのにおいに形容する言葉をつけていきます。最後にたくさん出たにおいの中で、これはぜひお道の人は持っておきたいと思うものに○印をつけてみてください。 さあ、いくつ出るでしょうか。		
20分		〈演習・おしゃべりタイム〉 ・ あなたの好きなにおいは？	① 班に1枚ずつテーマシートを配ります。 ② 班の中で、お互いに自分の好きなにおいを出し合い、用紙左側に記入します。 [例:ケーキのにおい] ③ 列記したにおいの右側に形容する言葉を記入します。 [例:ケーキのにおい→甘い] ④ 列記したにおいの中から、特にお道の人が持っていたいにおいに○印をつけます。	○ 自分の好きなにおいを出し合い、人が好むにおいについて考える。 ○ 好きなにおいを出し合った後、においから連想されるイメージを出し合い、そのにおいが好まれるわけを探る。

		<p>いかがでしたか。 今、みなさんに出してもらったにおいは、人が好むにおいです。 では、これらのおいが、人から発散されるとするなら、どんなことで発散される と思いますか。 行動や態度など、具体的に考えられる発散方法をみなさんで話してみてください。</p>		
10分		<p>〈おしゃべりタイム〉 ・よいにおいを発散するには？</p>	<p>○よいにおいをどんな行動 や態度から発散すること ができるかを考えます。 ※(例…ケーキのにおい→ 甘い→ほんわかとした やさしい言葉づかい)</p>	<p>○人が好むにお いを人から発 散させるとす れば、どんな 態度や行動を 取るべきかを 出し合い、に をいがけので きるようぼく としてのあり かたを考 える。</p>
		<p>いかがでしたか。それぞれに考えていただきました。班ではいろいろなご意見が出 て、なるほどと感心するものもあったのではないかと思います。 他の班はどうだったのか。気になるところですね。 ここで簡単に他の班のご意見も聞いてみましょう。</p> <p>それでは、各班から（司会の方／代表者を選んで）発表してください。 他の班の発表にも配慮して、要点をまとめてお願いします。</p>		
10分		<p>〈全体発表〉 ・よいにおいを発散するには？</p>	<p>○班で話したことを発表し ます。 ○班別司会者から発表する、 受講者から代表を選ぶな ど、雰囲気やプログラムの 進行状況などを配慮して 方法を考える。 ○重複する意見を避けるな ど発表方法の工夫を。</p>	
		<p>いかがでしたか。よいにおいを発散するために必要な行動や態度。みなさんからた くさんのヒントをいただいたように思います。ぜひ心がけてみたいものですね。 それではここでテキストを読んで確認しておきたいと思います。</p>		

5分		<p>〈本読み〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さあ にをいがけ」 <p>P8-9</p> <p>教祖を思い心温まっているあなた。ぜひ、身近な人とお付き合いをしてください。</p> <p>それが“にをいがけ”になります</p>	<p>○それではテキストの8・9ページをお開きください。</p> <p>○ゆっくり読むように指導する。</p>	
		<p>ありがとうございました。にをいがけは決して特別なことではない。にをいがけは日常生活の中で、どんなところからでもできるような気がしてきました。</p> <p>それでは今日のまとめとして、講師のおはなしを聞いてみましょう。</p>		
20分		<p>〈おはなし〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめのおはなし 	<p>○教えに基づく暮らし方はよいにおいを発散させる。</p> <p>○よいにおいを人に伝えて感化。同じにおいを出してもらえる人をまわりにつくろう。</p> <p>○まずはそこから。自信を持ってにをいがけに取り組もう。</p> <p>※講座全体の流れ、全体発表で出た意見などをふまえて、教えにもとづく生き方のすばらしさ、にをいがけに対する情熱を伝える</p>	
		<p>ありがとうございました。ここまでみなさんとの話し合い、テキストの音読、講師のおはなしを通して、にをいがけについて考えてきました。</p> <p>最後に、今日の講座をふりかえりましょう。今日の講座を受けて、それぞれに明日から、いや今日帰ってから、私はこれをがんばってみよう、こんな気持ちで取り組んでみようという決意、心定めを考えてみてください。</p> <p>そして班で発表しあいましょう。せっかく今日一緒に学んだ仲間です。お互いに励まし合いあい、元気ももらって帰りましょう。</p>		
20分		<p>〈おしゃべりタイム〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえり 	<p>○明日から(今から)の決意、抱負を発表します。</p>	

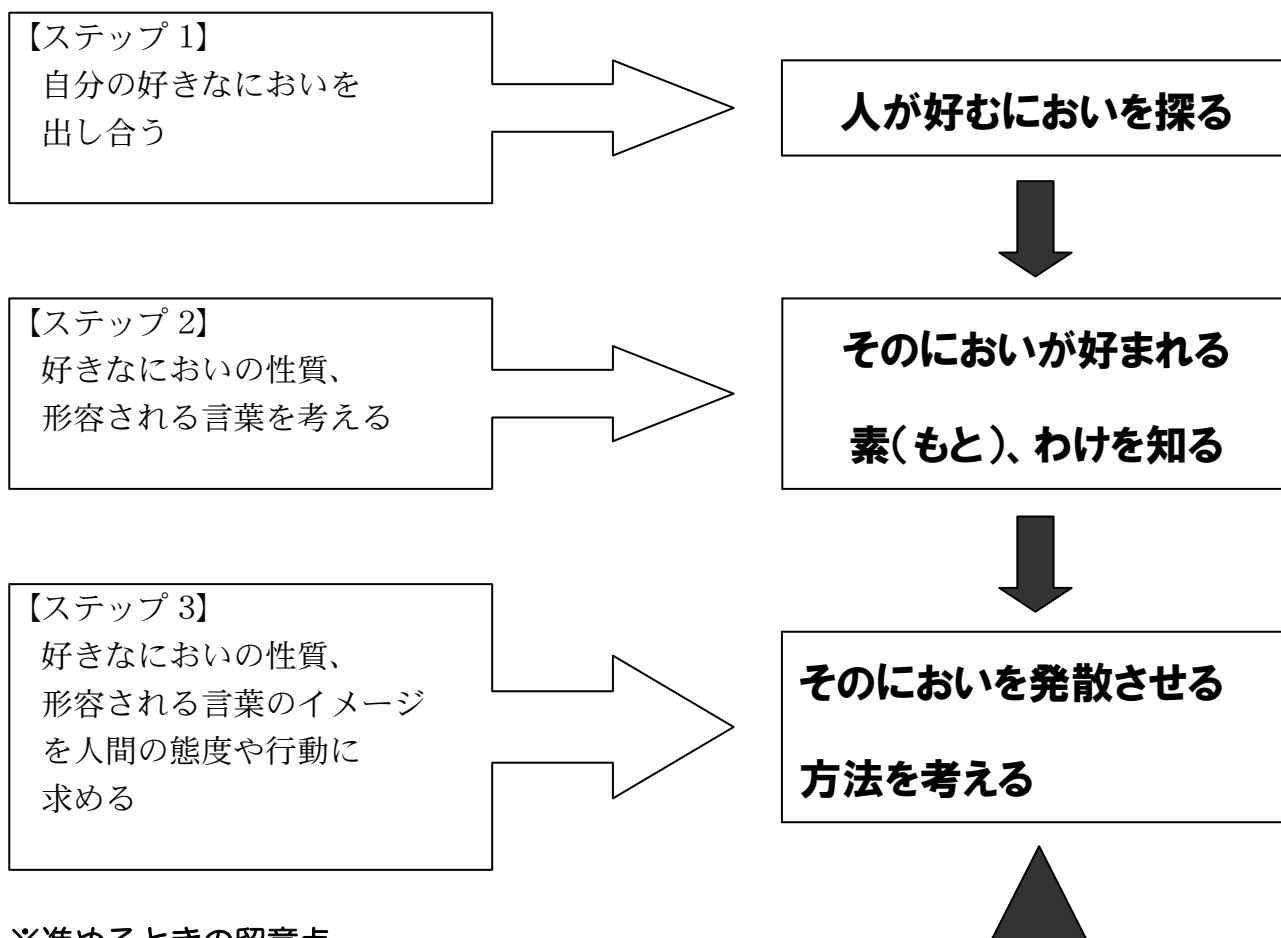
		<p>ありがとうございました。今日の講座はいかがでしたか？ 今日お配りしたテキストはどうぞおみやげにお持ち帰りください。 そのテキストの中には、今日の講座のまとめが載っています。 ぜひ参考にさせていただき、どうぞ素敵な毎日をお過ごしください。 最後に一つお知らせがございます。今日、皆さんと共に勉強させていただいた内容 以外にも、もっとお道の教理について学びたいという方のために、おちばでは「三 日講習会」というものが開催されています。詳しくは、所属の会長さんにご相談く ださい。 本日は、これで終了いたします。ありがとうございました。</p>
		<p>閉会 親神様、教祖、祖霊様遥拝</p>

《にをいかけ 演習・おしゃべりタイム/おしゃべりタイム》班別司会者向け補助資料

「あなたの好きなにおいは？」

「よいにおいを発散するには？」 進行について

上記2つの演習・おしゃべりタイムでは、3段階の過程を経て、「ようぼくとして持ちたいにおい」「ようぼくとしてのありかた」を考えてもらうことをねらいとしています。



※進めるときの留意点

- 【ステップ2】では、いきなり形容する言葉に置き換えることは難しいので、例えば、そのにおいから想像されるイメージや、〇〇だからそのにおいが好きといった理由を述べてもらうなどしてみるとよいでしょう。
- 【ステップ2】から【ステップ3】へは、参加者はなかなかイメージができないようです。できれば司会者から、1、2例示すとよいでしょう。(例：さわやか→いつも明るい笑顔)

人から好かれ、信仰的
なよいにおいを発散
する「ようぼく」とし
てのありかた